

4 いきいきこめっこプロジェクト成果と課題

「学校給食アンケート」結果より

※米子市教育委員会学校給食課実施

実施時期 令和6年8月末～9月上旬

対象 小学5年生(1032人) 中学2年生(1007人)

教職員(432人)※Google Formsによる入力回答

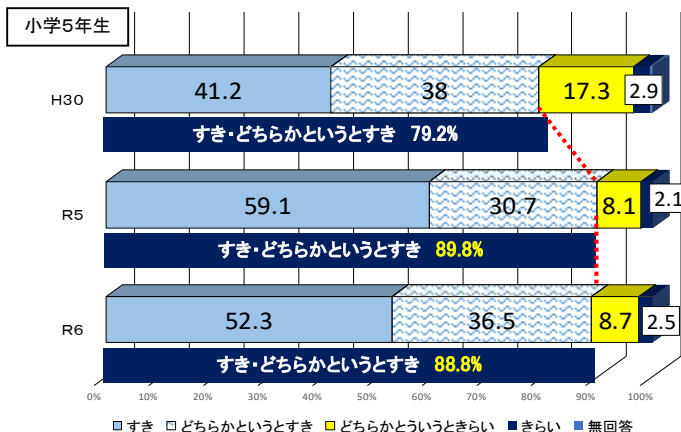
目的 民間委託している学校給食調理業務の検証、学校給食の運営及び食育の推進の参考。

内容 給食に対する意識・喫食状況・嗜好・朝食摂取状況など。

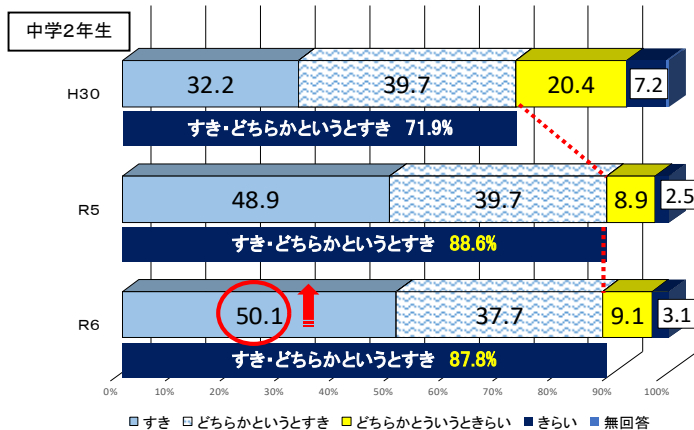
※平成20年度から毎年実施



問 学校給食は好きですか？

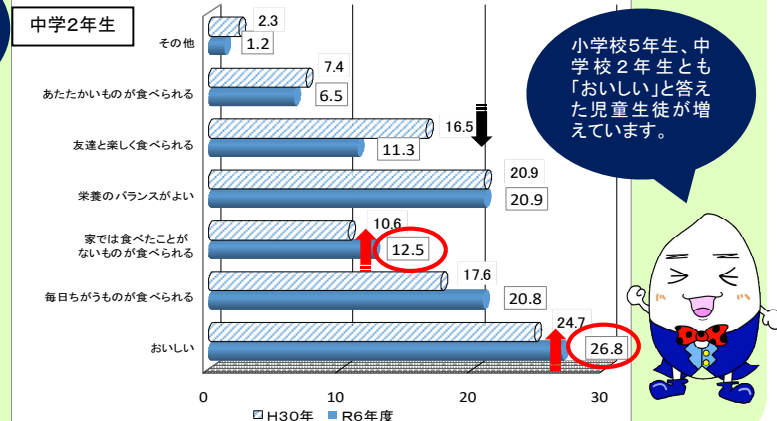
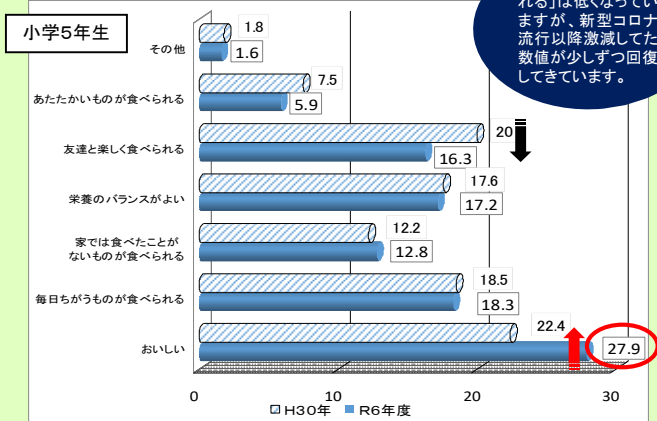


●学校給食は「好き」「どちらかというとき」と答えた児童は平成30年度と比較すると**10.6%増**えている。「すき」と答えた児童は**11.1%増**えているが昨年度より**6.8%減**っている。

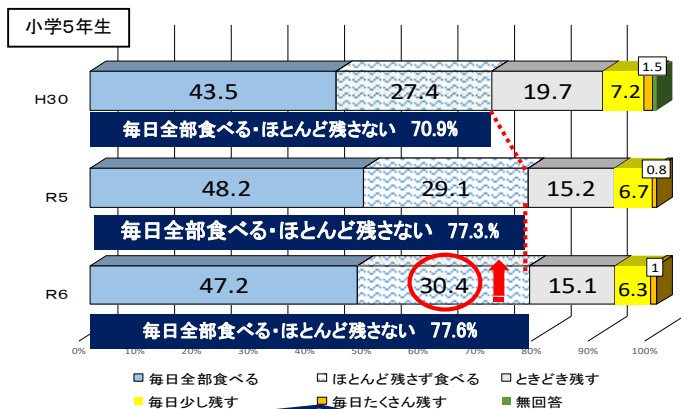


●学校給食は「好き」「どちらかというとき」と答えた生徒は平成30年度と比較すると**15.9%増**えている。「すき」と答えた児童は**17.9%増**えている。「嫌い」な生徒は半分に減少している。

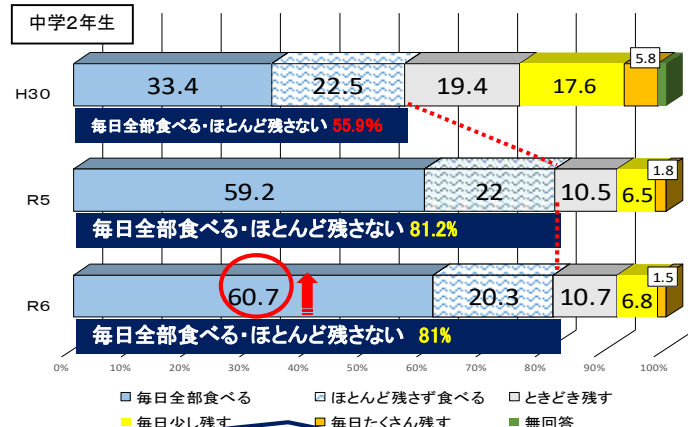
問 学校給食をすきな理由(複数回答)



問 給食を残さず食べていますか？

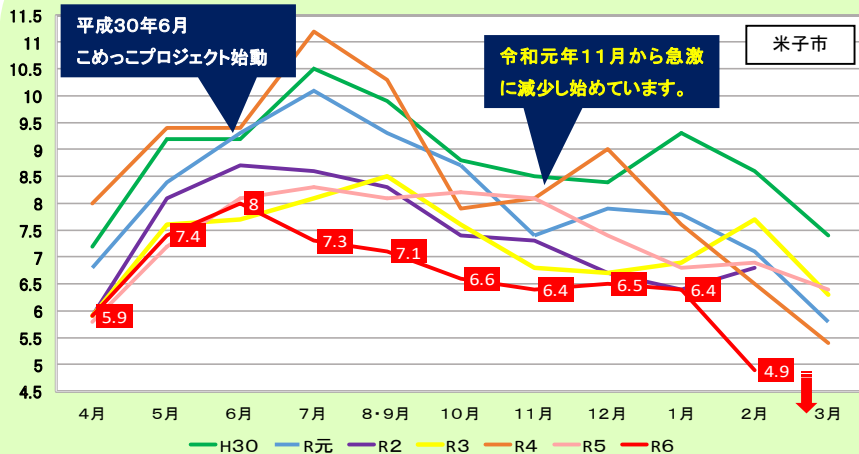


●給食を「毎日全部食べる」「ほとんど残さない」と答えた生徒は平成30年度と比較すると**6.7%増**えている。「毎日全部食べる」と答えた児童は**3.7%増**えている。

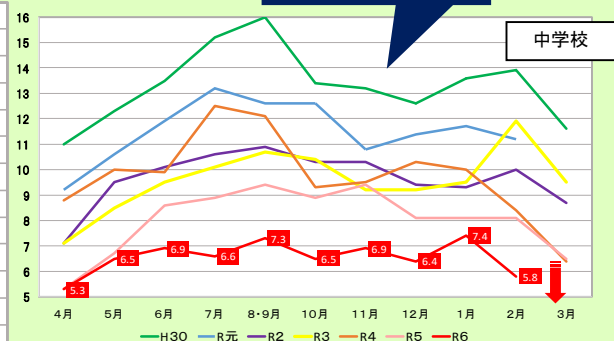


●給食を「毎日全部食べる」「ほとんど残さない」と答えた生徒は平成30年度と比較すると**25.1%増**えている。「毎日全部食べる」と答えた児童は**27.3%増**えている。

米子市残食率の推移(%) (平成30年度～令和6年度) 残食量(kg)/提供量(kg)

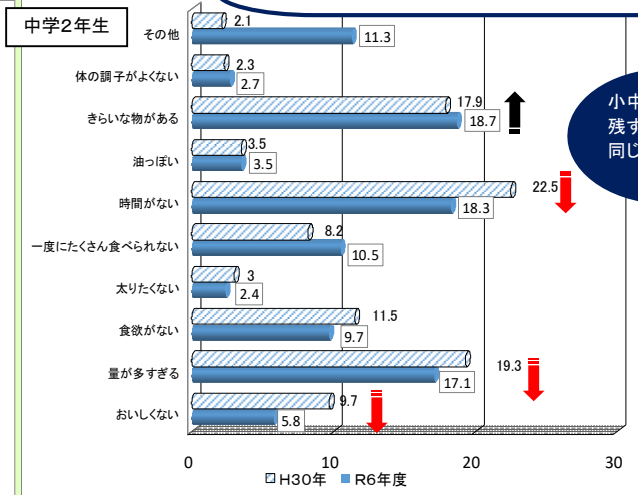
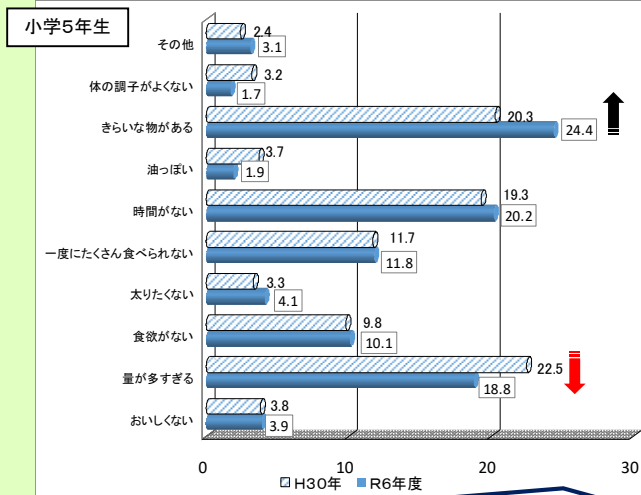


令和2年4月より
中学校区に栄養士1名配置



●残食量はプロジェクトを開始した平成30年度から年々減少しており、特に中学校における減少が著しい。「給食を残さず毎日食べる」と答えた生徒が平成30年度と比較すると増加していることから、中学生に給食を残さず食べようとする意識が育ってきていることがわかる。

問 給食を残す理由(複数回答)

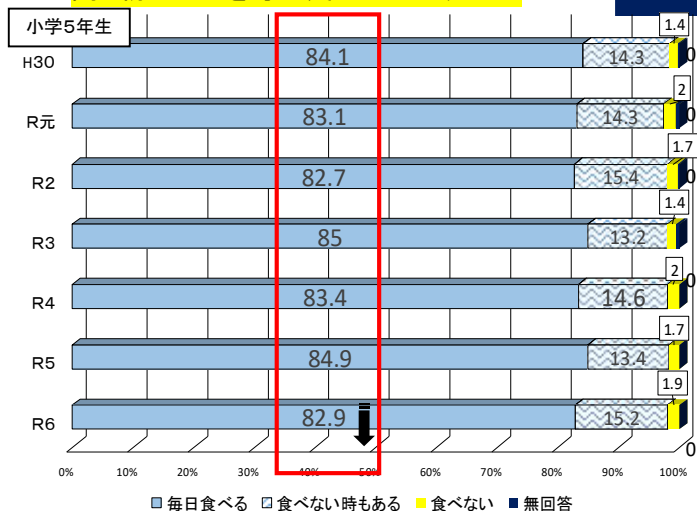


小中学校とも、
残す理由は
同じ傾向です。

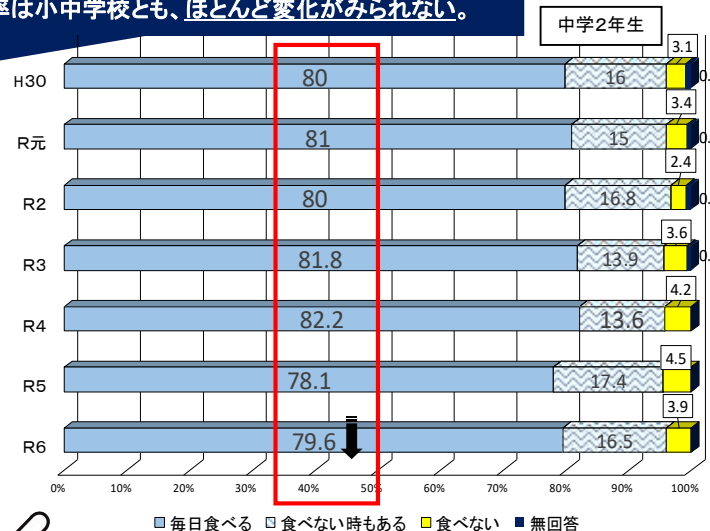


●給食を残す理由として、小中学校とも「おいしさ」や「量の多さ」が原因で残す児童生徒は減少傾向にあるが、「きらいなものがある」という理由は増加傾向である。中学校は「時間がない」が4.2%減少しており、平成27年度に中学校給食が始まってから10年経過していることを踏まえると、給食を食べる時間が確保されつつあることが伺われる。

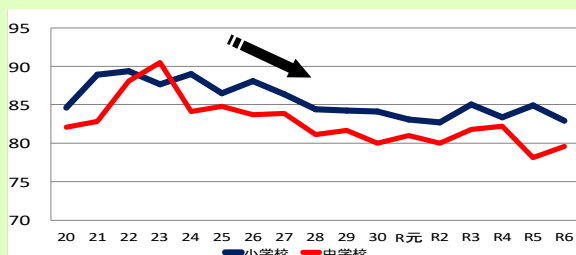
問 朝ごはんを毎日食べていますか？



朝食摂取率は小中学校とも、ほとんど変化がみられない。



米子市朝食摂取率推移(%)※平成20年～令和6年度

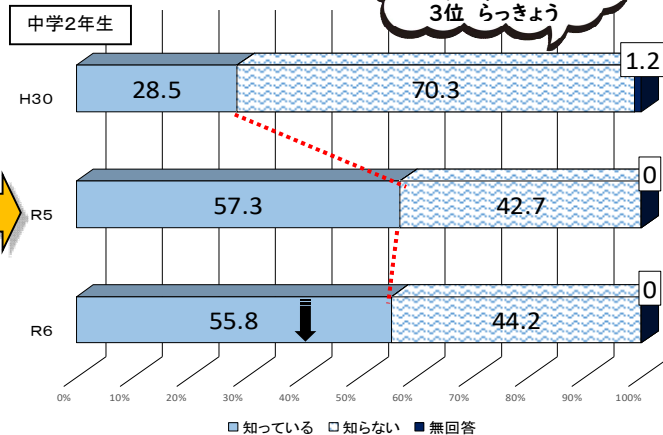
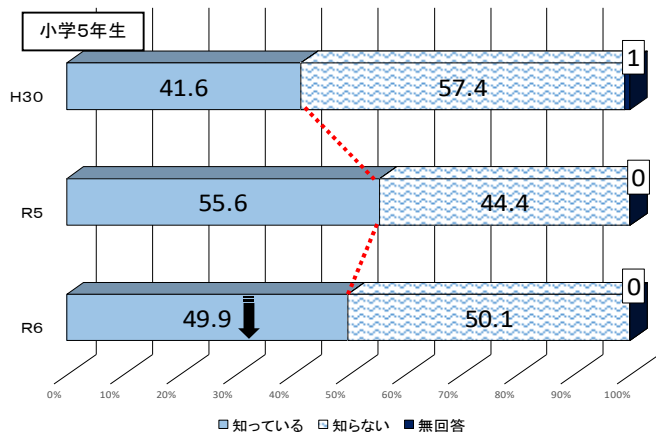


●朝食摂取率については、令和5年度と比較すると、小学校2%、中学校は1.5%増加したもののほとんど変化がみられなかった。さらに、学校給食アンケートを開始した平成20年度から、徐々に減少傾向にある。

このような実態から、米子市食育推進委員会において来年度、『朝食摂取率』の向上を目標に挙げ、関係機関や、他課と連携し、市全体で取り組む計画を作成中である。



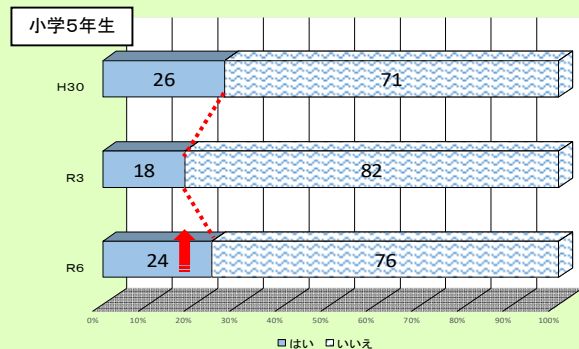
問 米子市でたくさんつくられたり、よくとれる食べ物(食材)を知っていますか。



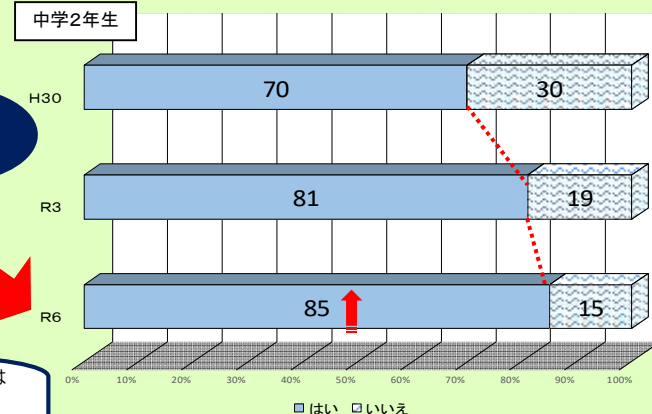
小5中2とも
1位 白ねぎ
2位 梨
3位 らっきょう

問 地産地消という言葉を知っていますか？

(鳥取県学校栄養士協議会「食事と生活についてのアンケート」より)



3年後
67%増



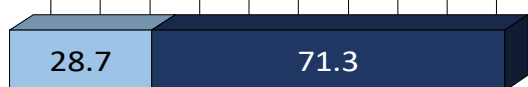
●米子市の特産や、「地産地消」の認知度、ともに小学校5年生の数値は低いですが、中学校2年生になるとともに増加している。このことから、こめっこプロジェクトのねらいである「9年間を見据えた系統的・継続的な食育の推進」の成果が現れてきていると考えられる。

New

問 鳥取県の郷土料理を知っていますか？

※今年度から郷土料理に対する項目を追加しました。

小学5年生



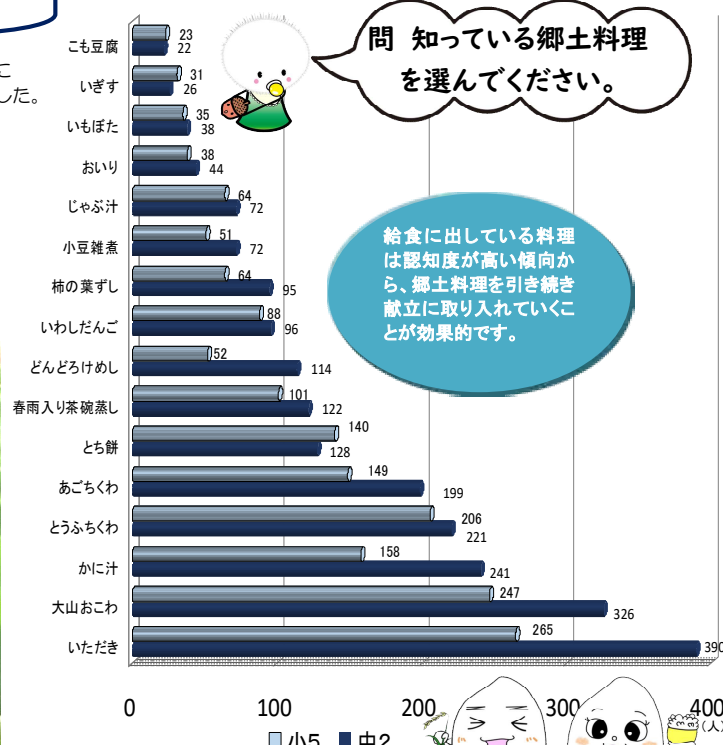
中学2年生



【ふるさとの食材を使ったこめっこ献立応募数】

	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
応募料理(点)	738	916	1070	1516	1522	1589	1784
応募人数(人)	913	1073	1251	1635	1668	1724	2045

問 知っている郷土料理を選んでください。



給食に出している料理は認知度が高い傾向から、郷土料理を引き続き献立に取り入れていくことが効果的です。

●米子市の子ども達のいきいきとした豊かな心やふるさとへの愛着を育むことを目的に、栄養教諭が中心となって教職員、関係者が連携・協力して7年間事業に取り組んできた。毎年、取組を検証しながら継続し、発信力を高めてきたことで給食関係者だけでなく、幅広い層の組織に学校給食が注目され、それぞれの目指すところに向けて助け合いながら連携を図ることができ、発展的な食育として拡がりつつある。今後も、こめっこ達のいきいきと豊かな心を育む食育の推進を目指し、本市のスケールメリットや強みを活かした効果的な食育のあり方を引き続き研究していくとともに、家庭や地域の課題、新たなニーズを踏まえたスピード感のある包括的な食育施策の展開を図っていききたいと考える。